

令和3年度第2回中仙地域協議会会議録

令和3年10月13日

中仙地域協議会

令和3年度第2回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) アンケート調査結果報告書について	3
(2) 道の駅なかせん拠点構想(素案)について	3
■報告	10
(1) 令和3年度地域枠予算活用事業について	10
(2) 中仙支所各課所管の事務事業等について	10
■その他	11
■閉会	11
■署名	12

■開催日時：令和3年10月13日（水曜日）午後2時

■開催場所：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員： 13名

伊藤 悟、熊谷 壽男、小松 京子、小松 正樹、今野 貴美子
佐川 晃、高橋 和政、高橋 強、高橋 朝夫、田口 馨
傳農 百合子、畠本 きよ、三浦 和則

■欠席委員： 2名

遠藤 まき、高橋 和美

■出席職員：8名

斎藤 秋彦（中仙支所長兼地域活性化推進室長） 鈴木 真紀子（市民サービス課長）
大阪 文博（農林建設課長） 高橋 千秋（中仙公民館長）
草薙 琢哉（市民サービス課参事） 佐々木 秀子（中仙公民館参事）
長谷川 祐城（地域活性化推進室副主幹） 門脇 友梨華（地域活性化推進室主事）

■次第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - (1) アンケート調査結果報告書（案）について
 - (2) 道の駅なかせん拠点構想（素案）について
- 6 報告
 - (1) 令和3年度地域枠予算活用事業について
 - (2) 中仙支所各課所管の事務事業等について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午後 2 時 0 0 分 開会)

○事務局 (地域活性化推進室) 開会を宣言

○高橋朝夫中仙地域協議会長 (以下「会長」と表記)

いつものことながら、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。本来ならば 8 月に第 2 回を行う予定でしたが、コロナの影響で延期となり、やっと今開催することができました。稲刈りも一段落し、農家の方には今くらいの時期が落ち着いていいのかなと思っているところであります。今日の新聞を見たら、場所によってカメムシ被害もあったものの、作況指数は 102 とまずまずの出来だったようです。収穫量は多かったが米価がだいぶ安くなっており心配だと聞いています。さて、今日の案件では道の駅のアンケート結果や、これからの方針について議題があるようでございますので、皆さんのご意見を聞きながら、これからの道の駅をどういった拠点にしていくかご検討いただきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。

○斎藤支所長 (以下「支所長」と表記)

本日は、大変お忙しい中、「第 2 回中仙地域協議会」にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、日頃よりそれぞれのお立場から市民と行政の協働のまちづくりの推進など、ご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス関係についてお知らせいたします。

全国をはじめ、県内の感染状況は皆様ご承知のとおり少傾向にありますが、引き続き大人数による飲食等、拡大につながらないように警戒していくことが大事なことだと考えております。ワクチン接種につきましては、11 日現在、65 歳以上の高齢者においては 2 回目の接種は 90.4% が終了し、全体でも 72% となっており、市では 11 月第 4 週の終了を目指しております。新聞報道でもありましたが、1 回目の予約が 10 月 18 日からの方におかれましては、ファイザー製ワクチンの不足からモデルナ製ワクチンへの変更が予定されております。そのさなか、担当職員の失念により、ファイザー製ワクチン 1,128 回分を廃棄せざる事態を招いてしまいました事を、あらためてお詫び申し上げます。予約当事者には丁寧に説明し、ご理解いただきたいと考えております。

次に、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、中止となったイベント・行事等であります。はじめに 3 年連続中止になった「ドンパン祭り」であります。地域の伝統芸能を継承するための記録会として、例年出演していただいている団体に参加いただき、8 月 16 日にドンパルを会場に「中仙地域伝統芸能記録会」を開催しております。黒土神楽や東長野ささらなど 7 団体 123 名の演者の皆様にご参加いただきました。記録用としてはもちろん、当日は、インターネット上の YouTube に生配信し、全国の皆様楽しんでいただきました。

このほか、今月、開催予定の「ジャンボうさぎフェスティバル」につきましても、大変残念ではありますが、3 年連続の中止が決定されております。

次に、中仙地域の拠点構想であります。方向性の参考とすべきアンケートの結果につきましては、この後、担当より説明があります。構想の策定にあたり、各分野の意見等を組み入れるため、支所各課、公民館、道の駅の物産中仙から13名を選び、検討会を立ち上げ進めているところであります。その進行状況につきましては、後ほど報告させていただきます。

こうした大変な状況ではありますが、地域協議会委員の皆様との連携と協力のもとに、より良い「地域づくり」を目指して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本日の議題は新型コロナ防止対策として、最小限の議題とさせていただきます。ご協力いただきますようお願い申し上げます。開会にあたりまして挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長　それでは次第4の「会議録署名委員の指名」に入ります。中仙地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することとなっております。今回は今野貴美子委員、三浦和則委員をお願いいたします。

それでは次第5「協議」に入りますが「(1)アンケート調査結果報告書について」と「(2)道の駅なかせん拠点構想(素案)」についてはそれぞれ関連がありますので、一括でご検討いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、事務局より説明をお願いします。

○事務局(地域活性化推進室)

資料に基づき説明

○会長　ありがとうございました。昨年度から、道の駅なかせんを活用した地域の魅力発信とあわせて道の駅をより良くしようという意見が出ておりましたが、3月の協議会での活発な審議を市長にも見ていただき、進めるようにとのことですので、予算等の面でも進めやすくなるのではないかと思います。委員の皆様から何かございませんか。

○支所長　少々補足させていただきます。拠点構想の内容については、アンケートに基づいて何が必要かということを中心に、検討会を開催しながら進めています。市長からは、地域の拠点構想を作るようにということで、他の支所ではどこを拠点にするかというところからのスタートになっておりますが、神岡と中仙については道の駅を拠点にするように市長から指示が出ておりますので、スタートの面では強みだと考えています。また、アンケート調査を実施しており、その結果が構想の後押しになっているということも強みであると考えており、構想の内容はアンケート結果を反映したのになっております。資料のとおり施策5までございまして、色々な事業が並んでいますが、構想はまだ未完成なものでご

ざいます。本日委員の皆様からいただく意見を反映し、精査を進め、より分かり内容に改善していくものと考えています。そのうえでご質問、ご意見いただく前に、道の駅なかせんの国道105号線からの見通しについて別資料を用意しておりますが、平成9年当初と現在の状況と同じアングルから撮った写真を並べているものです。アンケートの中で一番多かったのが、道の駅の入り口がわからなかったなど、駐車場に関する声であります。実際道の駅を利用されている方、働いている方からお話を聞くと、木があるせいで道の駅が分からなくて、通り過ぎてしまったという意見が多くありました。そうだとすれば、一番早く答えが出るのが、これらの木を切ることでないかと思えます。ソフト事業等についてはこれから何年かかけて、ハード事業まで確実にいきますが、まずは駐車場の課題改善については、これにより早急に効果が出るのではないかと考えております。10月25日に市長プレゼンがございましたけれども、これは令和4年度の事業として実施したいと伝えたいと考えております。そしてもう一つ、施策1の「ドンパン節の里なかせん」活性化プロジェクトの中にあります「ドンパン娘ブランド化事業」についても、現在ドンパン娘はイベントへの参加や地域を紹介など活躍しておりますが、ドンパン娘というブランドの商標登録がされていません。もし他所から「ドンパン娘」を先に商標登録をされてしまうと、こちらでは使用できないということになります。ブランド化から商標登録までの経費については現在調べているところですが、ドンパン娘という名前、ロゴ、イラストを作成し、商標登録を行いたいと考えており、これらを令和4年度に行う事業として行いたいと思っております。

○会長 ありがとうございます。ただいま、事務局からの説明、支所長からの補足説明も聞いたうえで、皆さんにご協議いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。今、道の駅の特徴と言っていますが、市長が協議会に来られた際に、道の駅なかせんを拠点として東地区、太田、仙北も視野に含めてと言われていましたが、太田には大台スキー場もありますし、仙北には餅の館や旧池田氏庭園があり、点ではなく、線、面という考え方もできると思います。道の駅なかせんを中心に、いろんな構想や意見を出していただきたいと思っておりますので、活発な意見をお願いします。

○支所長 今、会長がおっしゃれたのはその通りでございます。例えば施策4の地域文化、スポーツの連携、観光資源の連携ということで他地域の資源との連携を視野に入れています。ただ、太田は太田の方で拠点構想を作っておりまして、最初からというよりはいづれ巻き込んでということで考えております。来週、十六沢のほうで公園のライトアップを試験的に行う予定です。春は桜、秋は紅葉ということで中仙地域の自然資源を活用した観光誘客を図ろうとしているところですが、やはり太田、そして仙北まで含めた形の人流を生み出すことを目指してまいりたいと思っております。

○田口馨委員 具体的な取り組みで試作1から5までであるが、道の駅に絞って話をすれば施策2と施策3が重要だと思う。支所長が先ほど言われていたとおり、国道から見えづら

い。リピーターはよいが、初めての人であれば通過してしまう。道の駅には今まで目的があつて行くことはあつたがその周辺等を細かく見ることはなかったので、実際に足を運んで改めて駐車場を中心に見てきた。やはり国道端の統一性のない樹木が邪魔くさい。また、ドンパンじっちやのモニュメント、ロータリーを早く対応しなければならない。一番のネックは見にくい、そして駐車場が狭いということ。樹木帯は盛土して木が植えられている。狭いところでも4mは幅があるので、その部分を削るなど工夫すれば、駐車場はいくらか増やすことができるのではないか。トイレと道の駅との間に渡り廊下があるが、その南側はインターロッキングのブロックがあるだけで、何にも活用されていない。山内の道の駅のように、トイレと道の駅の間に露店や立ち食いそば、ファストフードがあればよいのではないか。アンケートを見ると、プレハブのそば屋に最近行っていないが、だいぶ評判が悪くあんなまずいものを出す店は撤去したほうが良いとまで言われていた。そういうのは印象を悪くするのであれば、撤去させたほうが良いのではないか。無駄なスペースが多分にある。自分は素人だから詳しいことはわからないが、専門家に聞いて検討してもらえばガラッと変わるのではないか。中は工夫していると思うが、まだ改善の余地があると感じた。

○支所長 インターロッキング部分の空いたスペースの活用についてはこちらでも想定しており、それが屋外出店、イベント等で提案している部分になります。自分も味穂は利用していますが、決してまずくはないと思っています。今駐車場や伐採に関してご指摘をいただきましたが、実は台数については神岡の道の駅よりも多く、イメージ的に大型自動車と普通車が分かれているので狭く感じられているのが一因かと思われまます。また、入る時に木が邪魔に感じられているのだと思います。中仙の道の駅は三桁の国道の関係で県管理になっており、現在県に相談して、どうしたらよいかを考えているところです。普通車側の駐車場は出るときにはロータリーを回って出ないといけないので、そこも駐車場からそのまま信号に出られないかも相談しています。今伐採したところを使って駐車場を広くすることも検討しましたが、盛土の中に排水管や電気の線が入っているため、盛土を下げながら、駐車場を広げられるかを考えております。また、モニュメントについては、撤去費用だけで300万から400万かかると言われています。ロータリーについては、県に依頼して樹木帯を削り、大型バスが留められるところを増やそうとしているところです。駐車場の課題の認識は委員の皆さんと同じと思っています。

○事務局（地域活性化推進室） トイレと道の駅の間スペースの活用については、検討会でも協議しているところで、屋外出店等のアイデアもあるほか、休憩設備が少なく長時間留まっていられない、また子ども達が楽しめる場所がないという意見がありますので、そうした課題もあのスペースで解決できる可能性があるということで協議しています。色々な活用方法があると思いますし、今の状態ではよくないという問題意識は委員の皆様と同じですので、ほかの事業との兼ね合いも考えながら、あのスペースを有効活用できる方法を考えているところです。味穂、みどりについての話もありましたが、屋外出店等を

レストランに隣接させることで一体的になるという意見もあれば、今の位置が普通車駐車場に近く利用しやすいという意見の方もおられるようです。お店の入替の可能性も含め、様々な意見を聞きながら最善の方向に進めていけたらと考えています。

○熊谷壽男委員 アンケートで意見のあったトイレについて、私も経験があるが、気持ち悪いと感じて怖いと思う。怖いということは行かなくなるし、あかりがぼやっとしていて暗い印象がある。それからこれもアンケートにあったが、旧中仙町の町花はコスモスだったと思うが、これをアピールすべきではないか。ほかの地域でも何々ロードというような花の道があるがコスモスは聞いたことがないので、作れば話題になるのではないか。

○支所長 コスモスは市の花でもあることから、市も緑化推進委員会でもコスモスを植えようということで活動しています。秋に桜と書いてコスモスと読むという桜とのつながりもあるので、PRできれば良いと考えているところです。昨日、中仙地域に初めて赴任した先生を対象に中仙地域を案内しましたが、道の駅を案内した際に拠点構想に触れ、伐採後の場所に花壇を設けて、小中学校で取り組んでいる花いっぱい運動や秋桜プロジェクトでコスモス等を植えられたらいいなという話をしたところでした。

○熊谷壽男委員 1 kmから2 kmくらいに続くコスモスがあればいいと思う。

○会長 中仙町になって町の花ということでコスモスを105号線の鑑見内から国道端をずっとコスモスを植えた時がありました。ただいつの間にか邪魔くさかったのか消えてしまったみたいです。

○三浦和則委員 小学校でも育てているが、手入れが大変。

○小松京子委員 コスモスはずっと背が高くなるから、ある程度のところで切るとか、成長を抑えることはできないですか。

○高橋強委員 ある程度育ったら、半分くらいのところで切ると良い。そうすると倒れない。コスモスがなくなったのは、花いっぱい運動で、通年で見ることができるマリーゴールドを植えたこともあるのではないか。

○高橋和政委員 これから具体的なことを詰めていくところと思いますが、道の駅なかせんの特色の一つに斉内川があります。今は子どもたちが道の駅に来て、斉内川には行かないで終わってしまう。

○小松京子委員 9月の後半は毎日天気が良くて、その頃に孫達を連れていったが、斉内川に2組くらいの家族が来ていました。道の駅内でバーベキューセットや野菜のセット等

を売り出せばいいと思います。バーベキュー以外でも川が近く、魚を間近でみることもできるので、活用しないのはもったいないので整備したら良いと思います。

○支所長 高橋委員、小松委員が言われた通り、その点については施策3にバーベキュー等を想定した事業として提案しております。斉内川へは、施設の中を歩いていくルートと、トイレと道の駅間のスペースを通るルートがありますが、道の駅の裏に斉内川があることをアピールしていく必要があると感じています。河川敷の管理は県と旧中仙町が管理協定を結んでいます。鉄道の鉄橋を工事する際には桜を11本伐採しており、すべての河川改修が終わった後に切った分をもう一度植樹するという取り決めになっております。すぐには手を付けられませんが、工事は当初8年程かかると言われており、いくらか前倒しになるのではないかと期待していますが、そこで河川も含めて県と協議できればと考えております。将来的にはバーベキューセットを道の駅なかせんで貸し出したり場所を提供したりということができると考えており、そうしたことを含めて施策3に盛り込んでいます。

○佐川晃委員 駐車場整備や河川敷の改修についてはそうした見通しというのはわかったが、その後はどういった順番に進めていくことを想定しているか。

○支所長 ハード面については、施設内部の改修については、道の駅なかせんは農水省補助で作ったもので、耐用年数が経過するまでは改修できない内容もあるとのことで、現在どこまで手を付けられるのか調べているところではありますが、できれば内部をもっと使いやすいようにできないかと考えています。外構については、先ほどお話しした来年度に実施したいと考えている樹木の伐採や県で対応する樹木帯を削る駐車場の拡張などがありますが、国道への出入りを斉内橋側に設けたい相談もしましたが難しいとのことで、一から新しくとできれば良いのですが、より使いやすい駐車場の形を検討していきたいと考えています。ハードについては、その二つを考えています。ソフトについては市長プレゼンが終わってからになります。秀よしとの連携や、千本桜を活用して道の駅へ誘導する周遊コースの作成等も予定しております。

○佐川晃委員 大体の順番が決まっていれば、委員も考えやすいと思う。このように構想を作ったのはよかった、とても参考になると思う。アンケートの中にもあった、おいしいもの、特別なものというのは難しいと思う。作りては皆、自分のところが一番おいしいと思っているので、おいしいものをセレクトするというのは難しいのではないかな。野菜だけでなく、手芸であるとか、工作、絵を描く人もいるので、そういった人が出品できるようになればいいと思う。

○会長 事務局のほうでは、現在の道の駅に登録者数等については把握していますか。

○事務局（地域活性化推進室） 直売コーナーの充実について、出品者数を増やすことを

検討会で話した際に、物産中仙からの説明では50名ほどの登録があるとのことでした。野菜と加工品の両方含めての人数だと思います。出品数が少なければ出品者を増やさなければなりません、募集して新しい人が入ったと思うと引退してしまう人もおり、大体50人前後で推移している状況のようです。中仙地域に限らず、東部地域の太田、仙北など、物産中仙さんで声掛けを始めているとのことですので、これからますます充実を図る動きを推進していけたらと思います。

○会長 協和の道の駅では加工品等を多く売っていますが、道の駅独自に加工する場所があります。昔の協和の学校給食センターをそっくり道の駅で借りて、物販を提供して下さる方に貸して加工品を作っているようで、そういうことも一つの手なのかなと思いました。春から秋にかけて農産物がある時期はいいですが、野菜の少ない時期をどうしのぐかということが大事だと思うので、加工施設の商品を出して切らさないようにしているのを聞きました。協和でどのような形態で運営されているかわかりませんが、物産中仙で加工品を作る方をお願いして作ってもらうなどして、その中で名物がうまく生まれればなお良いのかなと思いました。

○小松京子委員 農協の女性部で漬物の加工と米夢でお菓子を作っていますが、その人たちの年齢層が高くなってきているのが課題になっています。特に漬物の方は、私もその中では若い方で私よりも年齢が上の人もいるので、重いものを持つのが辛いという人が多いです。後継者や新しい方に入っていただき継続できればと思っています。加工所も設備があまり良くないと言われており、農協の方でも中々施設がないと聞きます。道の駅内に設けられたらと思いますが、難しいと思います。

○会長 協和の場合はたまたま並びに給食センターという食品加工にちょうどいい施設があることが良かった。

○小松京子委員 私の場合は個人でやっていますが、継続するとなるとなかなか難しいのでグループでできればいいなと思って同じ年代の人に声をかけますが、家のことがあって難しいと断られることがほとんどです。でも、自主的に立ち上げるのは難しいので、何か機会があつてやろうと集まってできることもあると思います。作ったものをどこで売ったらいいのかわからないという人もいるようです。しゅしゅえっとまるしぇの話ですが、原料原産地表示制度で今は経過措置期間ですが、手続きが変わるならもうやめようかなと言っている年配の方も多いです。昔ながらの味がなくなるのはすごく寂しいことですが、他の人に声をかけてもやらないという方が多い。しゅしゅえっとまるしぇでも加工などに使える場所がないようで、道の駅にあればいいなと思うところでした。

○支所長 次の検討会の際に意見があったことをお伝えします。

○会長 今年の食品衛生法の改正で、漬物など今まで許可がいらなかったものが申請が必要になったため、クリアできないからやめようかという人もいるかと思います。

○小松京子委員 施設さえあれば技術はあるので、チェック方法も難しくないので申請はできると思います。

○田口馨委員 農産物を通年で出荷するのは大変と思う。今日農産物を見てきたが、青森産のものもあり、地域の農産物で賄えないことを残念に感じた。向こうの地域から頼まれて置いているのか、こちらから仕入れたものかはわからないが、十文字の道の駅ではりんご等保存がきく果物が多いし、色々なものが置ける仕組みができています。中仙の道の駅やしゅしゅえっとまるしゅえは、2月頃には野菜はほとんど他県産になっている。ハウスで冬季も収穫できる野菜を扱うなど、冬場の商品の確保が大事。最初から野菜がない状態というのは寂しい。道の駅に来た観光客の第一印象として、マイナスイメージになりかねない。

○小松正樹委員 しゅしゅえっとまるしゅえは最初から補助金ありきでやっているが、毎年1億円近くの赤字になっていた。3年くらい前からよくなってきている。当時の問題は野菜の値段が高いことで、お客さんからスーパーで買うより値段が高いと言われていた。品質も悪いと言われていたが、それも改善してきた。コンサルタントを頼んだがほとんど効果が無く、職員たちに頑張るように言ってやっと改善されてきた。田口委員が言われた他県産の野菜も、県内産があるうちにはいいが、県外産も割り切って売る。ハウスで育てている人はいるが限りがあるので、県同士で協定を結び、互いにあるものをやり取りして展開していかなければ直売を成り立たせるのは難しい。零石の直売所には専門家がいる、棚を見て商品を切らさないようにしている。道の駅なかせんでもそれができればかなりよくなるのではないかと。

○田口馨委員 中仙の道の駅に出品している人の中には、しゅしゅえっとまるしゅえやイオン中仙店に出している人もいると思う。どこでもだが、自分の席、自分の場所をあらかじめ用意されているというのはプレッシャーになるのではないかと。十文字の道の駅も、無くなりそうな商品は駅長があらかじめ出品者に連絡し、欠品にならないように徹底しているとのこと。年間で何百万も売り上げを上げているというのは大変だろうが、そういうことが必要なのではないかと。

○会長 様々な意見が出ていますが、今できるもの、長い時間がかかるもの、今後協議会で話し合うべきこと、また関係者の中で話してもらうことなど様々あると思います。今回の構想案に従って、これまで実施してきたものは継続し、新たな取り組みも進めていくこととなりますが、全てをすぐにできるものではないと思います。これから先も協議会で話す機会があると思います。今できることについては、先ほど支所長、事務局から説明がありましたが、木を切って、建物を見えやすくして一人でも多く駐車場に入ってもらおうこと

からということで提案してくださっているようです。今後の協議会にも報告をいただき、さらにこれからどうしていくか提案をしてくれるかと思しますので、今日の協議についてはこのくらいでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、この協議については一旦終わりにしたいと思います。以上で「(1) 道の駅に関するアンケート調査について」と「(2) 道の駅なかせん拠点構想(素案)」の協議を終わります。

続きまして次第6「報告」に入りたいと思います。「(1) 令和3年度地域枠予算活用事業について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局(地域活性化推進室)

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明ありました。これに関して質問、意見などございますか。

(なし)

ないようですので次の報告に移ります。

それでは「(2) 中仙支所各課所管の事務事業等について」、担当各課から説明をお願いします。

○支所長

鈴木市民サービス課長(以下「市民サービス課長」と表記)

大阪農林建設課課長(以下「農林建設課長」と表記)

中仙公民館長(以下「中仙公民館長」と表記)

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま各課から説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。

○田口馨委員 7月20日豊成児童クラブ開設ということで、工事費8,944,100円とありますけれども、それについてもう少し詳しく教えてほしい。

○市民サービス課長 工事費とまとめて書いてしまっていたのですが、実際の工事費は7,657,100円に設計管理費等が入り、8,168,600円、これに備品を買い、775,500円の計で出したものであります。

○田口馨委員 金額はわかりましたが、豊成児童クラブについて説明願います。

○市民サービス課長 豊成小学校が統合されたことにより、豊成小学校の児童が、家に帰っても保護者がいない方を夜7時まで預かる場所のことでした。アンケートで豊成児童クラブと呼ぶことになりました。旧豊岡小学校の職員室、校長室、保健室の部分を改修して、児童クラブとして使えるように工事するための費用になります。

○高橋和政委員 これに人件費ははいっていないですか。

○市民サービス課長 入っていません。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、次第6を終わらせていただきます。

次に次第7「その他」に移ります。支所各課、委員の皆さん、なにかございますでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室） 昨年中止し今年も中仙が担当となっております東部3地区合同研修会ですが、例年であれば12月や2月に開催しておりますが、現状コロナが収まってきている状況ではありますが、市や国から明確な基準がまだ出ていない状況ですので、そうしたことが決まっていりましたら事務局から提案させていただき検討していただければと思いますので、よろしくお願いします。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、次第7を終わらせていただきます。

以上で、本日の地域協議会で予定されておりました案件等の審議は終了となります。本日は、長時間にわたりご審議ご協力いただきましたが、これをもちまして令和3年度の第1回地域協議会を終了したいと思います。

ありがとうございました。

皆様お疲れさまでした。

(午後4時00分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
